平成 27 年 3 月 25 日

各　　位

ＳＥホールディングス・アンド・
インキュベーションズ株式会社
代表取締役社長　速　水　浩　二
（ＪＡＳＤＡＱ・コード９４７８）
問い合わせ先
執行役員経営企画部部長　松　村　真　一
ＴＥＬ　０３－５３６２－３７００

# 【SE デザイン／SE モバイル・アンド・オンライン】両社開発のスマートフォンアプリ「PiiCON!（ピーコン！）」が、「YOKOHAMA Ups!」アプリコンテストにて最優秀賞を受賞！

当社連結子会社である株式会社SEデザイン(本社 東京都新宿区　代表取締役 篠崎 晃一　以下「SEデザイン」)およびSEモバイル・アンド・オンライン株式会社(本社 東京都新宿区　代表取締役 速水 浩二　以下「SEM&O」)が開発を行った、スマートフォンアプリ「PiiCON!（ピーコン！）」が、このたび横浜市とデジタルハリウッド大学大学院、株式会社パソナテック、株式会社tvkコミュニケーションズ、一般社団法人リバースプロジェクトとが連携したアプリコンテスト「YOKOHAMA Ups!」の「アプリ開発部門」において最優秀賞を受賞したことをご連絡いたします。

「PiiCON!（ピーコン！）」はiBeacon（Bluetooth Low Energy 技術）の仕組みを利用した、 現地発信型の街案内アプリです。横浜の街をスマートフォンでより便利に、簡単に案内できるツールとして提案いたしました。

【アプリ概要】

**■アプリ名：**PiiCON!（ピーコン！）

**■対応 OS：**Android

**■概要：**

●アプリのコンセプト

知りたいことを知りたいときに、その場所で。

アプリを開けば、その場所に合った街案内をしてくれる！

PiiCON!（ピーコン！）は、まるで街自身が案内をしてくれるようなアプリです。

**●アプリの仕組み**

iBeacon（アイビーコン）の仕組みを利用します。

ビーコンをアプリで受信すると、そのビーコンの ID に応じて web データベースから情報を取得し、アプリ画面に表示します。

**■ダウンロードサイト：**https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.co.sedesign.piicon

【コンテスト概要】

**■コンテスト名：**YOKOHAMA Ups!

**■開催主体：**

主催:デジタルハリウッド大学大学院、株式会社パソナテック、株式会社 tvk コミュニケーションズ

共催:横浜市

特別協力:一般社団法人リバースプロジェクト

**■概要**

●「アプリ開発部門」

“優れたアイデアとアプリ開発スキル”を保有した方を対象として、具体的なアプリの開発を募集

●「アイデア部門」

アプリ開発のスキルは無くとも“優れたアイデア”を募集

**■公式サイト：**https://jobhub.jp/camp/yokohama-ups

■本件に対するお問い合わせ

株式会社 SE デザイン

TEL： 03-5362-3710

■IR に関するお問い合わせ

SE ホールディングス・アンド・インキュベーションズ株式会社

経営企画部経営企画課

TEL： 03-5362-3700

（添付資料）PiiCON!（ピーコン！）アプリ説明書

以上

# PiiCON!

（ピーコン！）

# アプリ説明書

2015 ヨコハマ・アプリコンテスト応募アプリ

2015 © SE Design Co.,Ltd. / 2015 © SE Mobile and Online Co.,Ltd.

SEDesign



# 目次

１．コンセプト

２．アプリの操作手順、運用システムの構想

３．アプリの権限および動作環境

# １．コンセプト

## まるで街が自分で街案内をしてくれるようなアプリ です！！

知りたいことを知りたいときに！
アプリを開けば、その場で、その場所に合った横浜案内をしてくれます。

しかも多言語に対応！！※
※応募版では、日本語と英語のみ

横浜を訪れるすべての人に向けて。





# どうやって横浜案内するの？

手順

STEP 1

## Tap（タップ）

知りたい場所で
アプリを起動！




STEP 2

## Search（サーチ）




STEP 3

## Find！（見つける）




その場所の情報
が表示される！

## iBeacon (アイビーコン) の仕組みを利用します。

iBeacon は iOS7から搭載された技術で、Bluetooth Low Energy(BLE) ：近距離通信技術を利用してスマートフォンの位置情報を特定し、ロケーションに合わせて必要な情報を配信する仕組みのことです。
Beacon（ビーコン）と呼ばれる 最大約10〜30mの範囲（精度）の電波を対応アプリが受信することで、ビーコンの発信機の位置を特定・確認したり、IDに紐付いた情報を表示させたりなど、予めアプリに設定した動作を行わせることができます。

※ 本アプリでは Android OS 4.3 以降で使用することができる BLE の機能を使用しています。

横浜の街に Beacon を設置して、アプリと連動することで…





**その場所にいる人**に、**その場所に応じた横浜案内**ができる！

つまり、PiiCON! は

知りたい!!!　＼その場で！／

# みんなの　？　に、街　が　応えてくれるアプリ



# ゆくゆくは観光情報だけでなく…

## 訪日外国人観光客の方向けに…

日本政府観光局の資料(※) によると、
日本を訪れた外国人旅行者の不満として
「外国語による標識・説明不足、地図の
問題、迷う」が一位になっている。

ビルや道路名（主な通りの名称）や標識など
にビーコンを取り付け、
多言語での表記を表示させる事で
自分がどこにいるのかを理解する手助けに！

## 国内・地域の方向けに…



たとえば、山下公園で
大道芸など個人活動をされている方、
ペットのお散歩をする方、
ジョギングをしている方・・・





個人がビーコンを持つことで、
手軽な情報発信ツールに！
市民同士の交流や情報交換など
地域の活性化にもつながる可能性！

(※) 参考資料『訪日外国人旅行者が日本旅行中に感じた不便・不満調査』報告書 – 日本政府観光局
http://www.jnto.go.jp/jpn/downloads/20091029_TIC_attachement.pdf

# ２．アプリの操作手順、運用システムの構想

## アプリの操作手順

①「横浜案内 START!」
ボタンをタップ




起動時、
端末のデフォルトの
言語設定に対応して
適切な言語で
UIを表示します。

②近くのビーコンを
自動検索




周辺にビーコンがないか
検索します。
データベースに登録され
たビーコンのみを判別し、
検知します。

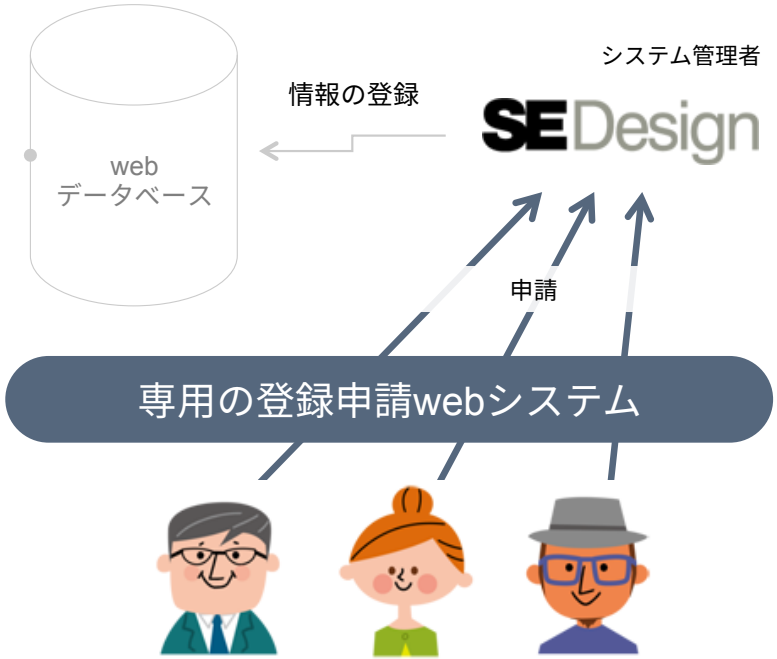
③ビーコンに応じた
情報が表示




取得したビーコンIDに
応じて、データベースと
通信し、情報を取得。

画面上に表示します。

## 運用システムの構想



# ３．アプリの権限および動作環境

権限

- ネットワークへのフルアクセス
- ネットワーク接続の表示

→　webデータベースとのやり取りのために使用します。

- Bluetooth機器のペア設定
- Bluetooth設定へのアクセス

→　ビーコンとの通信に必要なBLEの機能を使用するために設定しています。

動作環境

- Android OS 4.3以上のBLE対応のスマートフォン

※タブレットには対応していません。

SEDesign

株式会社 SEデザイン
SE Design Co.,Ltd.

http://www.sedesign.co.jp/

SEM&O

SEモバイル・アンド・オンライン株式会社
SE Mobile and Online Co.,Ltd.

http://www.semo.co.jp/